

リスクマネジメントに関する資料

（１）自然に関するリスクマネジメント

１）天候に関するリスク

フィールドワークにおいては、天候の状況を把握することは安全管理の基本となります。気象情報、注意報や天気予報を把握して、天気の推移を確認しておく必要があります。

○気温と風雨

大台ヶ原の気温の低さと雨の多さには、特に注意する必要があります。奈良県や大阪府の平地より 10℃程度気温が低く、4 月や 11 月には、氷点下になる場合もあるほか、夏でも 17℃以下になることもあるため、低体温症には十分注意してください。特に雨や雪で衣服が濡れると、強風の際には、体温が奪われるため低体温症の危険性が高くなります。大台ヶ原のこうした気象条件を事前に説明し、速乾性素材やウールなどの濡れても温かい下着を着用し、雨具や防寒着を必ず携帯するように説明してください。

○霧

霧が多いことも大台ヶ原の特徴です。非常に濃い霧も頻繁に発生します。霧の中では、慣れた人でも道を見失う場合があります。霧が発生した際には、各自の距離が離れすぎないように注意し、道に迷ったり、転倒などの事故が起こらないように努めてください。また、霧も衣服が濡れる場合があるため、低体温症の注意が必要です。

○落雷

雷は、晴天であっても急に雷雲が発達する場合があるので、常に天候の変化に注意して、雷の予兆を捉える必要があります。

積乱雲の発生、突風や雨・ヒョウ等落雷の予兆を的確に捉え、雷鳴が聞こえる前に、迅速な避難行動が必要である。雷鳴が聞こえる、あるいは雷雲が近づく様子が確認された場合は、直ちに退避行動を指示することが重要です。雷は標高の高い所に落ちやすいので、なるべく標高の低い所へ移動させましょう。また、周囲から自分が突出しないようにすることが大切なので、山頂や丘の上などの突出した場所や河原などの開けた場所は避け、低い所や窪地などに逃げ込み、しゃがんで体を小さくするよう指示します。また、移動時にも姿勢をできるだけ低くするよう指示する必要があります。

高木は落雷の可能性が高く、側撃（落雷した物体からさらに別の物体に放電が移ること）を受ける危険があるので、絶対に近寄らないように指示します。大台ヶ原においては、日出ヶ岳山頂の展望台に避雷針が設置されています。なお東大台の正木峠や正木ヶ原においては、ミヤコザサ草地となっているため落雷に特に注意する必要があります。

○急な増水

大台ヶ原は、年間降水量 3,500mm 以上を記録する非常に雨の多い所として知られており、時間降雨量 50mm を超すような集中的な豪雨が起これ、溪流が短時間で増水することがあります。フィールドワーク中は、天候の変化に常に気を配り、こうした悪天候が予想される場合は、行動を中

止する判断を下す必要があります。

万一、山中でこのような増水に遭遇した場合には、無理に渡渉せず、引き返す判断を下すべきである。また、増水した川を越えなければ、下山できない場合には、ルートを外れて危険箇所を避け、迂回することも必要です。特に西大台は周遊コース上に川を渡る箇所が多数あるため、十分注意してください。

2) 動植物に関するリスク

大台ヶ原では、ハチ類やヒル類、ダニ類による被害はそれほど多くありませんが、これらの生物も人に危害を与える可能性が十分あるので、注意してください。

○ツキノワグマ

ツキノワグマは、全国的に個体数の少ない種であり、紀伊半島の個体群も環境省のレッドデータブックで絶滅のおそれのある地域個体群に指定されています。しかし、大台ヶ原では、平成12(2000)年頃から、目撃情報が増えており、特に近年は目撃が増加しているので、注意が必要です。

事前にビジターセンターで情報を得るなどして、出現状況を把握してください。

ツキノワグマに遭遇した場合には、慌てずに行動することが重要です。

次のように参加者に指示する必要があります。

- ☐ ツキノワグマと距離が離れているときは慌てずゆっくりその場から遠ざかる。
- ☐ ツキノワグマが近くにいる場合は、クマの動きを見ながらゆっくりと後退する。
- ☐ 大声を出したり、写真撮影をして、クマを刺激しない。
- ☐ ツキノワグマは逃げるものを追いかける習性があるため走って逃げてはならない。
- ☐ また、仔グマがいる場合、近くに母グマがいて非常に危険なので決して近寄らず、その場から遠ざかる。

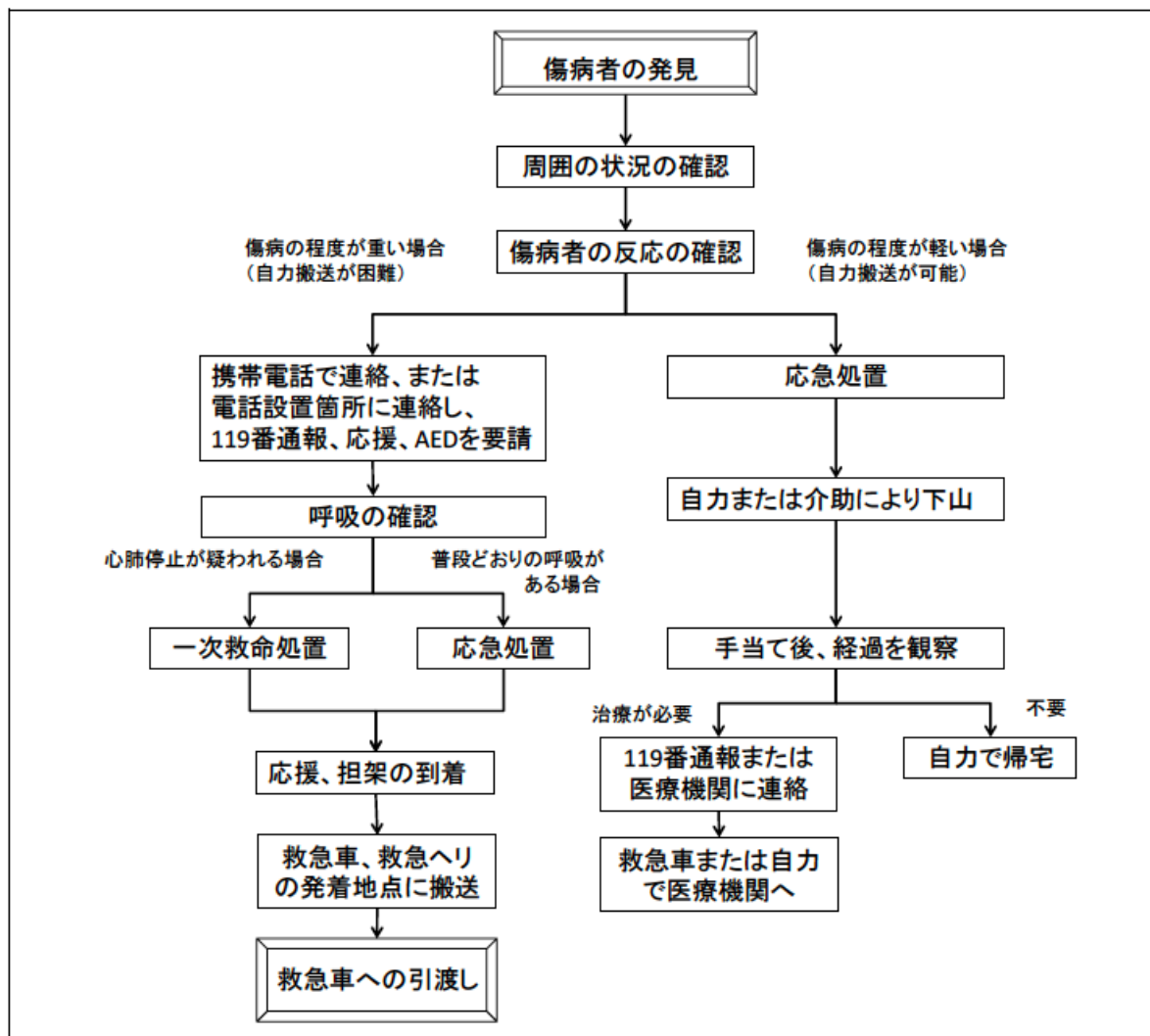
また、クマとの不意な遭遇を避けるには、鈴やラジオをつけた状態で行動することも効果的です。クマの生態に関する情報は変わってきていますので、最新の情報を収集するように努めてください。

○ツタウルシ

ツタウルシは、蔓性のウルシで、日当たりのよい所の木の下や岩にはい登るのがよく見かけられます。葉は三出の複葉で、秋の紅葉は美しいのですが、樹液と葉に毒性を持ち、触れると皮膚に強い炎症を起こしかぶれます。ウルシ類の中で最も毒性が強いことから、落葉を触っても炎症を起こすことがあるので、決して触らないように注意する必要があります。

（２）傷病者が発生した場合の対処の手順

傷病者が発生した場合には、以下のような手順で対処することが重要です。また、傷病者が発生した場合に、迅速な対応ができるよう、緊急時の連絡先や連絡の手順を把握しておく必要があります。



傷病者が発生した場合の対処の手順例（大台ヶ原登録ガイドテキストより）

緊急連絡先一覧

区分	機関名	住所	電話番号
環境省	環境省吉野管理官事務所	奈良県吉野郡吉野町大字 上市 2294-6	0746-34-2202
ビジターセンター	大台ヶ原ビジターセンター	奈良県吉野郡上北山村小 椋 660-1	07468-3-0312
消防・警察	奈良県広域消防組 吉野消防署	奈良県吉野郡吉野町大字 宮滝 17-1	0746-32-1011
	吉野警察署 さくら警察庁舎	奈良県吉野郡吉野町橋屋 185-1	0746-32-0110
	河合駐在所	奈良県吉野郡上北山村大 字河合 381	07468-2-0005
医療機関	南奈良総合医療センター	奈良県吉野郡大淀町大字 福神 8-1	0747-54-5000
	吉野病院	奈良県吉野郡吉野町大字 丹治 130-1	0746-32-4321
	川上村国民健康保険 川上診療所	奈良県吉野郡川上村大字 迫 1334-23	0746-52-0344
	上北山村国民健康保険 診療所	奈良県吉野郡上北山村大 字河合 381	07468-2-0016